



～「つながろうひなたで つなげよう世界へ」～ 宮崎県人会世界大会・次世代育成会議

宮崎県商工観光労働部観光経済交流局国際・経済交流課 児玉 利文

はじめに

宮崎県では、2019年6月に「みやざきグローバルプラン」を策定し、2022年度まで4年間の推進期間を通じ、経済交流の強化や国際交流の促進、多文化共生社会づくりなどの総合的な展開を図ってきました。

2023年度からは「みやざきグローバルプラン（第2期）」として改定し、新型コロナウイルス感染症の影響で道半ばとなっていた取り組みを着実に積み重ね、経済・人的交流の回復を図るとともに、引き続き、グローバルな視点から取り組むべき施策（グローバル関連施策）を総合的かつ計画的に推進しております。

今回、本県のグローバル関連施策は、計画の理念を踏まえ、3つの施策の柱に沿って推進し、そのうち、「国際交流の促進とグローバル社会で活躍する人づくり」の柱の展開に「宮崎県人会世界大会を契機とした交流の強化」を位置付けています。

「宮崎県人会世界大会」の開催

宮崎県人会は、国内外で暮らす宮崎県出身者などが会員相互の交流や本県との親善を図るために結成された会であり、2024年10月時点で、国内に14、海外に22設立されています。



宮崎県人会世界大会
Miyazaki Kenjinkai World Conference

国内外の県人会では、それぞれの会員の親睦を深めながら、ふるさと宮崎のPRに寄与するための取り組みが展開されるなど、本県との交流や親善に貢献していただいている一方で、近年は、高齢化や世代交代により本県とのつながりが薄れていくことが懸念されております。

こうしたことから、国内外の県人会が一堂に集い、県

民との交流を通じて、改めてふるさと宮崎への思いや本県との絆を深めていただくため、置県140年となる2023年に「宮崎県人会世界大会（世界大会）」を本県で初めて開催することとなりました。

大会は、2023年10月27日から29日の3日間にわたって、たくさんの方々の御協力により、大盛況のうちに開催することができました。



全体集合写真

開催中は、県人会長会議や県人会次世代会議、海外県人会プレゼンテーションなど、県人会活動の事例が紹介され、若い世代が参加しやすい企画の重要性について意見交換が行われるなど、活発な議論がなされたほか、記念式典では、県人会長会議で採択された「ふるさと宮崎への思いを次世代に継承する」「ネットワークの拡大・強化に努める」「宮崎県の魅力を国内外に発信する」などを掲げる大会宣言が発表されました。



次世代会議の様子



また、市町村・企業 PR ブース、伝統文化体験、ふるさと巡りツアーなど、本県の魅力を再発見していただけるプログラムを準備し、参加者からは「県と県人会、県人会同士のつながりが深まった」とのお声を頂くなど、意義のある大会となりました。

世界大会の開催により、幅広い世代の参加者との相互理解と交流や、県と県人会同士の交流によるネットワークの拡大、参加者がふるさと宮崎の魅力を再発見していただくなどの成果を得ることができました。

「宮崎県人会次世代育成会議」の開催

この世界大会の開催を契機に築かれたつながりを活用し、県人会の次代を担う人材を本県に招へいして、次世代育成のための交流会や意見交換などを行う「宮崎県人会次世代育成会議（育成会議）」を本県で初めて開催しました。



「知事との意見交換」の様子

育成会議では、10の海外県人会から17人の会員が参加し、2024年11月7日から8日の2日間にわたって世界大会後の各県人会活動の報告や知事との意見交換を実施しました。



意見交換の様子

育成会議では、県人会の活性化に向けた課題や次世代につなぐための取組事例の共有など、各県人会同士が意見を交わし、今後の県人会の活動に寄与する成果を得ることができました。

また、本県との意見交換では、県の取組事例や施策などを紹介し、今後、県人会と連携した更なる展開を図ることとして合意を形成することができました。



全体集合写真

おわりに

参加者からは、「世界大会後に築かれたつながりをさらに深めることができた」「宮崎県の魅力を再確認し、次世代へつなぐために県人会活動をさらに活発に行っていきたい」といった多くの嬉しい声が聞かれ、今回の育成会議は、県人会を活性化し、ネットワークを強化する絶好の機会となりました。

引き続き、「世界に開かれ、世界を舞台に活躍するみやざき」を目指し、県人会と連携しながら、グローバル関連施策を展開してまいります。